

2016.4.12. TUE

IT アドバイザリーサービスが 日経産業新聞に掲載されました。

IT アドバイザリーサービスが、2016年4月12日(火)の
日経産業新聞に記事として掲載されました。

検証サービスの流れ

クラウドテクノロジーズ

中小のIT投資効果検証

システム運用のクラウドテクノロジーズ(東京・文京、谷本勲社長)は月内に、中小企業のIT(情報技術)投資効果の検証サービスを始め、専属コンサルタントが経営者らにサーバー、スマートフォン(スマホ)などの利用状況を聞き取って効果を分析し、レポートにまとめる。大手のサービスに比べて調査項目を絞っており、価格を抑えて中小の需要を掘り起す。

大手より安く 利用改善策を助言

検証サービスでは顧客企業の社内に専属コンサルタント1人を置く。経営者らにサーバー台数や通信機器の構成、セキュリティ対策のレベルなどを聞き取る。その上で部署ごとのサーバーの使用容量やスマホの通信量などのデータを収集、分析する。調査項目は400あり、どれくらいシステムを有効活用できているかデータでまとめる。システムの構成や利用方法についての改善策もレポートに含める。一連の作業に約3カ月かかる。月額料金は約30万円で、計90万円程度になる。初年度で30社との取引を目指す。検証サービスを

きつかけに主力であるシステム運用の受注にもつなげる。

中小企業にはシステムの運用を改善させたいというニーズがあるが、IT分野の人材は不足しており社員として抱えることは簡単ではない。ITの利用状況の分析サービスとして大手コンサルテ

わたる事例があるが、数百万円かきり中小は利用しにくい。

同社はデータセンターでのクラウド環境の構築やコスト削減策の提案、情報漏洩事故を防ぐサービスなども実施している。これらのノウハウをコンサル事業に生かす。

(花井悠希)